

井の頭恩賜公園花便り



原産国は本州、四国、九州、沖縄で古くから寺院などの庭に「シャラノキ」と称して植えられてきました。1日花で、開花後1日で落ちます。花びらの縁には、細かいギザギザがあり、樹皮は薄く滑らかです。名前の由来は、椿によく似ていて、夏に開花することからついたと言われています。可憐で愛らしい花です。

伊豆半島、房総半島などの関東以南の海岸地帯に自生している落葉低木です。装飾花で縁取られ、額縁のように見えることから、この名が付けられました。この装飾花は、萼（ガク）が変化したもので、本来の花はとても小さく、装飾花の内側にあります。梅雨の季節に美しく彩られ、明るい気持ちにしてくれる花です。



花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所【0422-47-6900】までお問合せ下さい。